

目標達成計画

作成日：平成 23 年 4 月 1 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	* 冬場の外出支援 * ADL低下による外出嫌い * 急な希望に対応できない時	冬場の行事を多くして外出機会を増やす。利用者の希望を最大限尊重して、楽しい時間、気の合う仲間、気の合う職員と同行する機会を増やす。ホーム長、管理者のフリー時間を増やすと共に、介護補助者、ボランティアを活用する。	外食、ショッピングなど室内への外出を増やす。利用者の日々の思い、希望を叶える具体的な外出を増やす。例えば散歩、喫茶店へ行く。買物同行など、時には利用者の家に同行するなど。各階に一名ずつ社員を増員する。	1年
2	20	利用者本人の高齢化により馴染みの人が少なくなってきた。1階には毎日、ホームに来られる3家族がおられる一方で、2年間、家族、身内が来られない方もおり、家族招待の集まりなどの後で不穏になる事が多い。	年内に息子さんにホームに来てもらえるように働きかける。他の利用者から嫉妬されない程度に職員がドライブなど外出支援をする。	息子さん、知人に電話、手紙、ホームの情報などを発信する。どんな形でも外出を増やしていきたい。その為に職員も増員するし、ボランティアも活用する。	6ヶ月 ～1年
3	2	地域との付き合いの輪をもっと広げたい。	既存の町内会、学校、喫茶店以外にも、もっと顔なじみ、お互いに挨拶できるような機会を増やす。	散歩、買物等の外出機会を増やすと共に、同じ様な人ばかり外出するのではなく、外出嫌いの人も外出が増えるように対応していく。	6ヶ月
4	18	職員は職務上、どうしても介護支援している意識が強いと思う、勿論その事は大切だが、一歩進んで生活を共にする者として、パートナーとしての意識を向上させて、働く事が出来るようにしたい。	利用者が認知症であることを忘れるような、何か困っている事があつたら、そっと支援するような関係作りに努める。	ホームでの生活を利用者は勿論、職員も楽しんで生活する。基本理念に沿って支援する。笑顔と美味しい食事のホームをめざす。中にいる人間はあまり気がつかない傾向があるので、外部の意見を素直に聴く。	1年
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。